

# ことぶき共同診療所だより

## 第 25 号

2008年6月25日発行

横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F

電話とファックス 045-651-2305

E-Mail info@kyoudouclinic.com

http://kyoudouclinic.com

発行：医療法人ことぶき共同診療所

## 目次

ことぶき共同診療所 13年目を迎えました。・・・鈴木 伸	
追悼 岩本 東海雄さん 具志堅 剛さん	.....
岩本さんさようなら.....	川崎 正明
具志堅剛さんを偲んで.....	高田あずさ
診療所利用アンケート集計結果.....	天田 大輔
“診療室から”(21)―“早起きは三文の得??”―.....	矢島 雅子
NPO法人 寿クリーンセンター活動報告.....	大平 正巳
職員自己紹介.....	さだかた・菊田恵義・源川俊介・船崎葉子・水島章子
診療所日誌.....	矢島 雅子
寿町地域ニュース・あらかると(2007年11月~2008年5月).....	寿町関係資料室
共同診療所・鍼灸院ガイド.....	.....



## ことぶき共同診療所 13年目を迎えました。

### 【チームで地域を支える 診療所をめざして】

私は医学生だったころ長野県の山村を支える診療所をあちこちと見学しまくったことがあります。将来的に寿での地域医療を見据えて、「地域医療に必要なものは何か？」を現場にいて考えてみたいと思ったからです。(と書くと、かっこいいのですが、実は見学に行くと先生がおいしいものを食べさせてくれたり、面白い話をきけるのでというのが実のところです。)その時、一番考えさせられたのが、1人で医療を続けることの大変さでした。

医者も人間ですから、病気にもなるでしょうし、家族が病気になることだってあります。そうなれば、患者さんの医療はストップしてしまいます。実際、多くの医師がストレスを感じており、熱心な先生でも5年ほどやると燃え尽きてしまうというようなことも聞きました。ですから、できれば複数の医師で助け合いながら診療ができたらなあと思っていました。昨年の大脇先生、天田先生に続き、精神科・内科の土屋先生(現在留学中)、菊田先生(毎週水曜日)が診療して下さることになり、かつて考えていた理想に近付い

てきたなあと思います。今後も、診療所の理念に賛同してくれる仲間が集まればと思っています。

### 【デイケアルーム改修工事終了】

デイケアメンバーの増加に伴い従来の部屋では手狭になったため、昨年11月より改修工事を行い1月に完成しました。一番変わった点は、調理スペースが劇的に大きくなり、専用の業務用コンロが使えるようになった点です。特にコンロは一度見たものは誰でも調理したくなるような素晴らしいもので、かつてのTV番組「料理の鉄人」の舞台のようです。(料理好きの私もたまりません！)

また、メンバーさんがくつろぐスペースが広くなり、これも好評です。このスペースから、楽しい笑い声が増え、患者さんの回復に役立てばと願っています。

### 【寿クリーンセンター始動】

病気から回復してある程度元気になっても、無理なく自分のペースで働けるような職場がないために、日中やることがなかったり、きつすぎる仕事について病気が再発してしまったりということが多々み

られ「適度な仕事ができる職場があったら」というのが長年の懸案でした。こうした中で昨年から準備をすすめてきた寿クリーンセンターが今年4月満を持して始動しました。病気から回復した人が自分のペースでそれなりに稼げる職場をめざし、現在は、主として引越し、片付けや、リサイクル品の販売をメインに展開中です。将来的には手分解リサイクルができればということ視野にいれ一歩一歩進めていきたいと思えます。現在、引越し、部屋の引き払い、片付けの依頼、まだ使える物品の引き取りなどを受付けております。よろしくお願ひします。

#### 【越智祥太先生退職】

最後に少し残念なお話です。99年3月から診療所に9年間勤務され、ことぶき共同診療所を支えてくださった越智先生が今年4月に当院を退職され、寿町勤労者福祉協会診療所(通称寿町診療所)へ移られました。

越智先生は、本当に親身に患者さんの話に耳を傾けられ、途中で出て行ってしまった患者さんを追っかけて長時間説得されるなど、患者さんの話を聞くとはこういうことなのだと言師の原点を教えてくださいました。また、「越智マジック」とも呼ばれる話術を駆使し、どんな難しそうな患者さんでも、越智先生と話していく間に「治療をうけます」と説得してしまう技術を持たれていました。熱心なファンの患者さんも多く、当診療所では珍しく遠方より通院される患者さんも多くいました。私も越智先生から学ぶところは多く、もう少し一緒に働きたかったのですが、寿町診療所で精神科の先生がいなくなってしまうという話を聞き、移籍を決意されたようです。私個人としてはとても寂しいですが、今後も同じ寿町内の病院ということで、住民の皆さんの健康をともに支えていければと思います。長い間お疲れ様でした。

(鈴木 伸)

## 追悼 岩本<sup>とみお</sup>東海雄さん 具志堅 剛さん

### 岩本さんさようなら

岩本東海雄さんが亡くなってから、もう半年になる。1月には具志堅君が逝き、そして石田曾登次さん、栗山洋一さんが亡くなった。ことぶき共同診療所に勤務することは、こういう事だとは、わかって就職したつもりでいたが、こう連続してくるとさすがにつらい。気を振り絞っている。

岩本さんとのつきあいは、わたくしが共同診療所に勤めてからで、短い。でも年がひとつ違っていたからか、なんとなく気があった。

彼がガンに冒され、医師から告知された。生きて三か月、抗ガン剤で治療して一年だというのである。昨年5月、デイケアの田植えを前にして、彼は入院した。その後、退院、入院をくり返したが、横浜中央病院の三階のロビーで、何度となく、抗ガン剤は効くのだろうか、と繰り返しわたくしに聞いていた。

11月、岩本さんは衰弱していた。幻聴、うわごと。だれが面会に来ているのか、わかるのかな、という状況が続いていた。

デイケアの仲間たちが順番に面会に行こうと決め、会った一日目、看護師は、厳しい状況であるとわたくしたちに告げた。いざというときには、真夜中でもいいから、わたくしに連絡してほしいということを看護師に伝えた。

しかしその深夜に、電話が鳴るとは！

2時ころ病室に着くと、岩本さんは荒い息をしていた。波形は弱かった。手を握ったとき彼は、わたくしのことを気付いてくれただろうか。でも見ていたような気がする。おれはもう行くんだ、っていうような顔をしてい

た。

あまり短くもない人生で、人の手を握りながら、見送ることは初めてだった。医師は、「もういいでしょう」と言った。「午前2時42分お亡くなりになりました」。

2007年11月15日午前2時42分、横浜中央病院で死んだ。62歳だった。

安らかな顔。そう見えた。悲しかった。

川崎さん、バイクいじってる、休み何かしている？と聞かれたことがある。なんにもしていなかった。どきとした。

毎月2回か3回は川崎チネチッタに通い、映画を見ていた岩本さん。60歳以上は1000円だ、と教えてくれた。この前、本牧に行って1000円で映画を見た。

関内の地下の「糸車」に菊ちゃんと3人で行こう、と言っていたが、それがかなわぬまま逝ってしまった。

部屋の冷蔵庫には、箱買いの「ガリガリ君」が入っていた。デイが終わったあとは、ローソンでガリガリ君を買い、しゃぶりながら帰路についた岩本さん。

別れたかみさんや、子供のことを、話題にすることを非常に嫌っていたが、わたくしも同じような環境だなど知ってからは、あまり気にせずに、話し始めていた。

背中が痛いと言っていた。あれが死に至る病の兆候だったのだ、と思うと、つらい。せめて、死ぬとき一人にはしなかった。それだけがわたくしにとっては救いだった。

岩本さんがいない63回目の誕生日は、過ぎた。

2008. 6. 4

(川崎 正明)

## 具志堅剛さんを偲んで

2006年の年末、私は横浜市内の精神科病院のデイケアで働いていましたが、4月から診療所で働くべく、上司に退職の意思を伝え、少しすっきりした気持ちで年末年始の休みに入ったときでした。毎年行われている越冬に医療班の補欠的な参加をさせていただきました。その日の夕方まで大きな事件もなく過ぎていきましたが、道端で倒れている人がいるとのことで、看護師の矢島さんと一緒に行ってみると、意識不明で倒れている人がいました。・・・それが具志堅さんでした。

救急車を要請し、何もできないけれど矢島さんにくっついて救急車に乗り込みました。初めての経験にどうなることかと戸惑って着いた搬送先の病院の先生からは、年を越せないかも・・・という厳しい言葉を聞きました。が、数時間後治療を終えて病室にいた具志堅さんはすでに笑顔さえ浮かべ、「看護師さんかわいいね」などと病院の看護師さんに話しかけていました。それを見た私はさっきまで年を越せないかもといわれていた人とは到底思えず、天晴あっぱれだなあと拍手を送りたい気分でした。そして私の知らないところでその後もいつ死ぬかわからないという状況があったのを聞いてますます驚嘆したものでした。

その後私は4月末から診療所で勤めるこ

とになり、デイケアで再び具志堅さんと顔を合わせることになりました。あああのときの・・・と感慨深い再会でしたが、私と会っていたことをまったく覚えていない具志堅さんは相変わらずけろっとしていました。なにかと面倒な問題を引き起こしてくれる具志堅さんは、町特有のディープな問題ばかりだったので寿初心者の私にはレベルが高かったです(笑)。基本的には善人で憎めない人なので、白内障の手術の時にはデイのメンバーに付き添ってもらっていたというほほえましいこともありました。またときには悲鳴に近い心の叫びを長文の手紙にしたためてくれたことがありました。

そんな具志堅さんの一番の魅力はやはりあの笑顔でした。具志堅さんのことを思い出すと、ちょっと甘えたような彼の笑顔が真っ先に浮かんできます。ちゃっかりしてて身勝手なところがあってもあの笑顔でまあいいかと思わせてしまうのは才能だと思います。

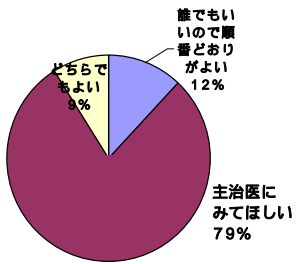
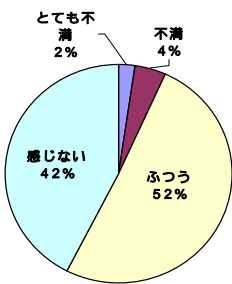
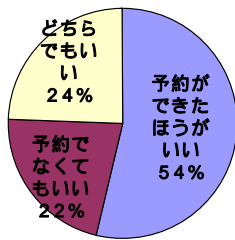
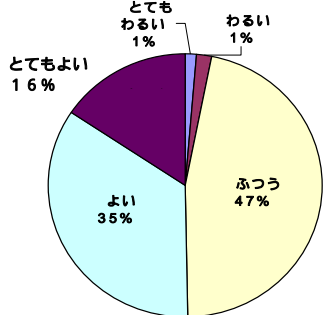
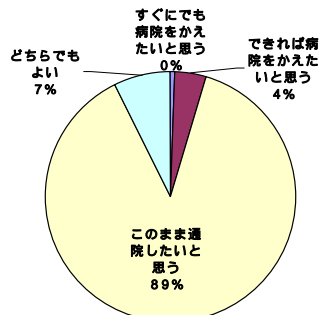
いまだに亡くなってしまったということが信じられず、どこかに入院していてまた戻ってくるような気がしてしまいます。でもきっと具志堅さんは天国で気ままにお酒を飲んで楽しんでいるんだろうな～とも思います。そんな愛すべき人でした。一生忘れません！

(高田あずさ)

## 診療所利用アンケート集計結果

昨年末にアンケートを行い、237名の患者さんよりご協力を得ることができました。いろいろなご意見を頂き、今後の医療に大変役立ちました。以下に簡単な集計結果とコメントをのせてみました。

<p>問1 こちらにはなぜこられましたか？</p> <p>通常医療機関では、自分の意思で来ることが多いです。しかし、当院への受診機会は役所から言われてくることが多いのが特徴です。</p>	<p>問2 何科にかかっていますか？ (複数回答)</p> <p>精神科メインの診療所ですが、内科・整形外科の利用も増えています。しかし、実際の診療では皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科疾患も多いため、症状に応じて専門医へ紹介しています。</p>	<p>問3 あなたの主治医は誰ですか？</p> <p>現在は、越智先生、土屋先生は勤務しておりません。代わって水曜日に菊田先生の診療が始まっています。</p>
<p>問4 受付で名前を書く方法について</p> <p>悪い理由の中に、待ち時間がわからない、順番が不適切、プライバシー、受診科毎にして欲しいなどのご意見をもらいました。</p>	<p>問5 待合室の雰囲気について</p> <p>悪い理由として、うるさい、マナー違反の人がいる、座る場所が少ない、喫煙所がありにおいが気になる、酔ってくる人がいるなどがありました。</p>	<p>問6 待ち時間について</p> <p>予想通り、待ち時間が長いのご意見を多数もらいました。待ち時間短縮のため、処方箋を医師が渡す、医師数を増やすなどの対策をしていますが、まだまだ不十分です。</p>

<p>問7 診察を受ける医者について</p>  <p>待ち時間にかかわらず、主治医にみて欲しいとのご意見が多くありました。診療所では症状によっては主治医以外の医師の診察をお勧めすることがあります。なるべく患者さんの理解を得て行いたいと思っています。</p>	<p>問8 名前を呼ばれる時不満を感じるか？</p>  <p>不満を感じる理由として、順番がおかしい、状態によって早くして欲しい、診療室での順番がわからないといった意見がありました。状態の悪い人は常に最優先をしています。看護師・医師の判断によりますのでご了承ください。</p>	<p>問9 予約をできたほうがいいのか？</p>  <p>予約できた方がよいという方が半数以上いました。診療所には一日平均 180～240 人程度の利用があります。薬のみ (DOTS といいます) の患者さんも多く、予約制導入には受付システムの変更が必要になり、現時点では困難な状態です。ただし、前向きに検討していきます。</p>
<p>問10 診察時間や内容・検査などについて</p>  <p>不満の声としては、段取りが悪いといった意見です。可能な限り不要な検査は行わず、診療所でできない検査は他の病院へ紹介するように心がけています。</p>	<p>問11 今後も当所を利用したいですか</p>  <p>利用継続の方が多くホッとしました。なお、転院希望される方は、主治医にご相談ください。病院紹介など、適切に対応させていただきます。</p>	<p>問12 当診療所の良い点・悪い点</p> <p>&lt;良い点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙コーナーが出来て良くなった。</li> <li>・医者もスタッフも患者を対等な立場から対応してくれる。</li> <li>・煙草を吸える。茶が飲める。</li> <li>・みんな若くて楽しい。コミュニケーションがとれて嬉しい。</li> <li>・看護師さんは患者の目線に立ち、いつも笑顔で接する姿に感動する。</li> </ul> <p>&lt;悪い点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒を飲んで診察に来た人は受診をさせないで欲しい。うるさいし周りが非常に迷惑している。診察に関係のない人はあまり長くいて欲しくない。</li> <li>・処方箋が出るのが遅い。</li> <li>・待ち時間がとにかく長すぎる。</li> <li>・順番が狂う。</li> <li>・喫煙室があるのはどうかと思う。</li> </ul>

以上の結果から、待ち時間をへらす、受診希望医師を明確にする、待合室でのマナーの向上・雰囲気作り、プライバシーの保護、受付システムの変更 (例えば電子カルテ) など、いろいろな課題に取り組む必要があります。今後も、敷居が低く利用しやすい環境を維持しながら、より良い診療所にできるようにしたいと思います。

(天田 大輔)

## “診療室から” (21)

### “早起きは三文の得??”

「おはようございま～す」  
朝、診療所前を通り過ぎると、  
「早く開けてくれ～」との声。ざっと2つ隣のビルの辺りまでの大行列。  
そして、診療開始の9時30分。  
「まだか～、もう5時間も待っているんだぞ～」  
んんん???, っていうか、まだ診察が始まったばかりなんですけど。

診療所の朝の大行列。列の最後の人の名前を書き終わると、100人に達することもある。

しかし…、

大行列の3分の1位の人、DOTS（薬だけを飲みに来ている）の人で、わざわざ朝も早くから並ばなくても良い人なのだ。

「薬はすぐにお渡しするので、もう少しゆっくり来て頂いてもいいですよ」とは言ってみるものの、「大丈夫」と。

薬を飲んで、すぐに帰ってしまう人も、何故か朝5時とか6時とかから並んでいるらしい。いつも一番をキープしている方は、何を隠そうDOTSの人だ。

傷の手当てなどをしている人も、これまた朝も早くから並んでいて、名前が呼ばれるまで、じっと待っている。

「午後に来ていただければ、お待たせしませんが・・・」と言ってみるものの、次の日はさすがに午後に見せてくれるが、気が付くとまた朝も早くから並んでいる。

何故、人は並ぶのか。

確かに、行列のできている場所は「美味しいに違いない」し、「楽しいに違いない」し、「いいことがあるに違いない」。と思い、並んでみる。理由はいろいろあるらしい。

夜3時に目覚めてしまったから並んでいたとか、早く役所に行かなくてはいけないからとか。毎日早朝に目覚めてしまう人は、不眠なわけではなく、日が暮れると用事が無いから寝てしまうとか、昼寝しすぎたとか、これまた色々理由があるようです。

一説によると、その昔、奈良で神の申し子とされていた鹿が家の前で死んでいると、その家の人が罰金を支払わなければならず、早起きをして、もし鹿が死んでいたら屍骸を家の前から動かして三文の罰金を免れていたため「三文得した」ということがあったらしい。

しかし、診療所の前でお金を拾ったという話も聞かないし、何か良いことあったという話も聞かないし・・・。

はたして、三文得しているのかな？

まあ、でも早起きして朝日を浴びるのもいいし、友人も出来ているみたいだし、まあいいっか。

(矢島 雅子)



## NPO法人 寿クリーンセンター 活動報告

寿クリーンセンターがNPO法人として活動を開始して2ヶ月がたちました。

開設記念シンポジウムも炭谷茂さん(元厚生省社会・援護局長、元環境事務次官)によるイギリスの貧民街や大阪釜ヶ崎での仕事起こしに関する経験報告と東京で野宿者のしごと起こしを行なう「企業組合あうん」や日本労働者協同組合など、日本各地で仕事起こしの活動を開始しているなかまを招いてのシンポジウムを行政機関、寿の自助グループ、支援団体や住人・自治会、社協関係者など多数の参加を得て成功裏に開催(参加約180名)することができました。

4月の開設当初は寿町総合労働福祉会館1Fに借りた事務所兼店舗もカンパ物資と平田商店さんが残した物品に埋もれていましたが5月に入り、アルクの塗装ボランティアのみなさんやクリーンセンタースタッフが集中して作業に入った結果、壁も塗り替えられ見違えるように綺麗になりました。理事会の面々も寿に住まう方々

の秘めた力をあらためて実感しました。

肝心の仕事は、役所のケースワーカーさんや、マスコミ報道を見たという方から引越しや、ごみ屋敷の引き払い(掃除と不用品の処分)、お部屋の整理などの依頼が入り始めています。さらに6月3日からはリサイクルショップが開店、また6月19日からは寿クリーンセンターが初期目標としていた廃家電手分解リサイクル事業の準備として「家電手分解講習会」が1年間(全10回)のカリキュラムで開始されます。

寿町で生活する障がいを持った方々や仕事がなく能力を発揮出来ないでいる方に働く場を用意しようと設立された寿クリーンセンターはみなさんのご支援・ご協力を受けてようやく産声をあげました。

これから理事会・スタッフ一同、事業を軌道に乗せるため頑張っていくのでみなさん、ご助力よろしくお願ひします。

(大平 正巳)

**【お願い】**

寿クリーンセンターではお仕事のご依頼は勿論のこと、引き続き物品カンパも募集しております。現在不足しているものは家電製品（2000年以降の稼働品）ですが、衣類以外は受け付けています。みなさまからの寄付・カンパをお願いします。

※横浜市以外の場合は申し訳ありませんが引き取り運送代実費を頂く場合もありますのでご了承ください。

リサイクルショップの商品

**お問い合わせ**

〒231-0026

横浜市中区寿町4-14 寿町総合労働福祉会館 1F

TEL/FAX **045-633-2608** E-mail: info@kyoudouclinic.com

（カンパあて先）

横浜銀行 元町支店 1692127

口座名義 特定非営利活動法人寿クリーンセンター 理事村田由夫

ゆうちょ銀行の振替口座 00290-6-133751

寿町のゴミをリサイクルする会

# 職員自己紹介

自己紹介  
を書くように  
と言われ困ってしまった…。

朝、石川町駅に着く、ため息が出る。  
一つ目の信号を左に曲がる、また、ため息が出る。

二つ目の信号を目指して歩く。町の雰囲気が変わっていく。

二つ目の信号に着く。今日もまた患者さん達が並んでいるなと、また、ため息が出る。

診療所に着くまで、少なくとも3回のため息。火曜日から金曜日まで毎日繰り返す。

石川町といえば中華街しか知らず、寿町・ドヤなど聞いたこともなかった。

こんな町があったんだと、複雑な思い。

ことぶき共同診療所で働くにあたり、高い志があった理由でもなく、ただ家庭と仕事が両立できれば良いなと思っただけで。

自己紹介にはほど遠い文章になってしまいましたが、診療所スタッフ皆といっしょに、息切れしない程度にがんばって仕事していきたいと思っています。



皆さん、  
こんにちは。

菊田 恵義きくた やすよし

昨年12月より水曜日に精神科外来を担当しております、菊田恵義(きくた やすよし)と申します。

早いもので着任して半年が過ぎました。患者さんたちにも、漸く顔と名前を覚えて頂けるようになり、馴染みの患者さんも増えて参りました。

横浜で精神科医をしておりますと、寿町は否が応でも(失礼!)関わる事が少なくありません。そうこうしていく間に寿町に対する自分の興味関心が沸々と湧き起こって参りまして、それなら自分もここで診療をしてみようじゃないかと思い立ちました。そんな折り、偶然見つけた共同診療所のHPに「医師急募」の文字が…善は急げで、早速連絡を取りましたところトントン拍子に勤務することが決まったわけです。こんな経過で勤務を始めましたが、やはり何か御縁があったのでしょうか、とても居心地の良い環境で診察させてもらっています。普段病院で実践している医療とは、また違った地域診療の形がここにはあるように思います。スタッフの皆さんが、本当に寿の町を愛してらっしゃるんだなあと日々感心しながら、診察を続ける毎日です。

ところで、私は自他共に認める酒飲みでして(皆さん、呑みに行きましょうね)、呑兵衛だからできるアルコール医療をこの地で実践していきたいと思っています。まだまだ人間的にも、医師としても発展途上の若輩でござ

います。患者さんを始め診療所に関わる皆々様に支えられながら、頑張っていますので気軽に声を掛けて下さい。

宜しく願い申し上げます。



どうもはじめまして、  
こことぶき共同診療所受付の源川俊介です。

みながわ しゅんすけ  
源川 俊介

時が経つのは早いもので、入職して、今月末で5ヶ月になります。

医療機関で勤務するのは初めてで、最初は慣れるまでに時間がかかりましたが、ようやく、落ち着いてきました。

前職は、パチンコ/スロット店を運営している会社に勤めていました。社員として配属されたのは、神奈川・東京の3店舗でした。主に接客をメインに行っていて、年齢層、客層も診療所の患者さん達と近いものがあり、あまり抵抗なく馴染むことができました。

全体的に、前の職場とは雰囲気も環境も180度違う職場で、驚かされることも多いですが、受付の方、看護師の方、先生方もすごく優しく、人柄のよい方ばかりで、非常に恵まれていると感じています。

スタッフの皆さんが1つの家族のような、アットホームな空間はなかなかないと思います。

これからも、皆さんのお役に立ち、頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



はじめまして。船崎葉子と申します。

ふなざき ようこ  
船崎 葉子

今年の2月より、週3日、デイケアを中心に働かせていただいています。

以前は、知的障がい者通所授産施設が運営するグループホームに勤務していました。実をいえば、すでにことぶきで勤めていた友人T女史に「ことぶき、募集しているけど？」と尋ねられた頃はそろそろ仕事を辞め、家にはびこっている雑草をのんびりと引っっこ抜きつつ、近所のスーパーに惣菜系のパートに出てコロッケや天ぷらでも揚げようかと思っていた矢先でした。なのに、「あっ、やるやる、やりたいです。」と即答。おいおい、介護福祉、医療関連の仕事は気苦勞ばかりが多くて、もうやめにしようって確か思ってなかったか、おまえはっ?!と自問自答する間もなく、そしてまだ採用されてもいないのにも関わらず、個人的に転職決定。かなりおっちょこちょいです。

一人ひとりが違う人生、一人ひとりが今を精一杯生きているということ。そのことを忘れずに仕事に望みたいと思います。デイケアのメンバーさんやスタッフの皆さんの温かさや配慮のある優しさを感じながら、ゆっくりと仕事をさせていただいています。本当に有難いことです。どうぞ、よろしくお願い致します。



はじめまして。今年4月から診療所の受付で主に働かせていただいております、水島章子と申します。

みずしま あきこ  
水島 章子

ことぶき共同診療所との出会いは“ハローワーク”です。

以前、東横線沿線のH整形外科でやはり受付の仕事をさせて頂いていましたが、3月で退職し、就職活動をしていました。通勤

時間が少ないところ、できれば徒歩圏内だったら最高だなあと考えていたところ、偶然にも募集されているのを発見！！こちらしかないと思い(それだけではありませんが・・・)面接を受け運良く採用の運びとなりました。

あれから約2ヶ月が経ちました。その間色々な経験をさせて頂きました。デイケア、稲子の田植等、他の診療所とは一味も二味も違い、毎日がとても新鮮で楽しいです。

まだ傍楽(ハタラク)とはいきませんが、傍迷惑にならぬよう、がんばりますので、ご指導よろしくお願ひします。

## 寿町ドヤ街 第4号 宇田知道君とその時代 目次

はじめに……………田中 俊夫

1 宇田知道君略年譜……………制作・田中 俊夫

2 宇田知道君との2年間……………田中 俊夫

3 日記から……………宇田知道(注・田中 俊夫)

4 宇田さんの思い出

(1) 宇田知道氏を偲ぶ……………佐藤 勝彦

(2) 宇田知道先輩の思い出……………江間 治

(3) 宇田知道さんからいただいたもの……………谷川 弘子・神野 雅子

(4) ドヤ街と宇田さん……………田村 加代子

(5) 宇田先生へ……………平岡 ゆき江

(6) 宇田知道氏の「恵荘レポート」を、いま読んで……………谷川 弘

(7) 宇田君との思い出……………田中 俊夫

(8) 宇田君御姉妹からの手紙……………柴田 恭子・佐藤 晏子

5 資料

(1) 恵荘時代

① 恵荘時代の記録……………田中 俊夫・宇田 知道

② 恵荘に於ける活動の経過報告……………宇田 知道

③ 寿町セツル設立を目指して……………寿町セツルメント準備会

④ 恵荘レポート……………宇田 知道

(2) 寿町簡易宿泊所街における戸籍問題……………田中 俊夫・宇田 知道

(3) ことぶき共同診療所5周年誌より 抜粋「忘れえぬ人々」……………田中 俊夫

① ある人生―宇田知道君のこと―

② 寿町生活館20年史(未刊)予定原稿のうちの一部

(4) 新聞記事より

せいかつかんだより 第1号

寿保健の会 手 第5号

子ども新聞 季節 第17号

おわりに……………松本 一郎

横浜市寿生活館(現・寿福祉プラザ)の初代職員であり、寿町の子ども、住民のために尽力された故・宇田知道さんを偲んで、昨年(2007)の11月16日に、寿町関係資料室から『寿町ドヤ街』第4号が刊行されました。診療所で配布中です。

また、『寿町ドヤ街』第1～4号の音訳カセットテープがありますので、必要な人は利用できます。

# 診療所日誌

2007年11月~2008年5月

## 11月 往診、入院が多く あわただしい1ヵ月でした

- 11月10日 診療所ホームページにて看護師・事務受付の公募を始める
- 11月13日 看護師定方さん、職員として勤務
- 11月15日 デイケアメンバーの岩本さん、病院で亡くなる。職員の川崎さん、看取る
- 11月16日 デイケア、七沢温泉へ日帰り温泉旅行
- 11月22日 職員松本愛さんの実家からフリーズアの球根を大量に送ってもらい、デイケアのメンバーさんと吉浜町公園に植える
- 11月23日 岩本さん、火葬。デイケアのメンバーさんと共に見送る  
「寿町ドヤ街」4号、納品
- 11月24日~25日 職員旅行（於：修善寺温泉）
- 11月27日 新デイケア部屋の改修工事始まる  
寿福祉プラザ職員減に関する地元説明会開催
- 11月30日 結核DOTSのTさんのカンファレンス

## 12月 医師が増え 診療態勢が充実しました

- 12月1日 鍼灸院改修工事。となりに寿町関係資料室移転
- 12月5日 菊田医師、毎週水曜日勤務開始
- 12月6日 土屋医師、金曜日に加え、毎週木曜日勤務開始
- 12月13日 地域保健福祉計画高齢分科会で見守り活動について報告（大平・矢島）  
「寿から文化を発信しよう（仮）」第1回会議（以後、2ヵ月に1回定例化）
- 12月18日 患者さんへのアンケート開始
- 12月21日 デイケア、クリスマス会。夕から忘年会、外部より36名参加
- 12月31日 デイケア、紅白を見て年越しソバを食べる

## 1月 年明け、訃報がつづく 20代30代の新患さん増えています

- 1月4日 往診に行っていたSさん、妻に看取られ病院にて亡くなる
- 1月7日 長い間アルバイトとして来ていた明治学院大学の菊地さんが区役所勤務となる
- 1月8日 デイケアの具志堅さん、親族に看取られ病院にて亡くなる
- 1月11日 デイケア、川崎大師に初詣
- 1月13日 宇田さんのご姉妹みえる
- 1月17日 デイケア向かいの部屋に引越し
- 1月22日 源川さん、職員として勤務
- 1月24日 患者数258名、最高記録です

## 2月 新入職員増え マンパワー増えました

- 2月1日 船崎さん、アルバイトとして勤務
- 2月2日 デイケア、豆まき
- 2月5日 看護師山口さん、アルバイトとして勤務
- 2月8日 デイケアにて具志堅さんを偲ぶ会
- 2月9日 松本の高校生・大学生10数名寿町見学に見える
- 2月16日~17日 稲子にて味噌作り
- 2月27日 精神科の患者さんの往診依頼あり。  
精神症状により、がんの治療が進まないという

### 3月 診療所も異動の季節です 長く勤められた方がそれぞれの路へ

- 3月1日 デイケア、お面をかぶって雛人形に変身  
3月11日 寿クリーンセンター（準）のメンバー、「あうん」へ一週間研修へ  
富山大学医学部・看護学部の学生さん4名実習  
3月19日 デイケア、日帰り旅行（三浦）  
3月26日～27日 自治医科大学の学生さん実習  
3月28日 越智医師、診察終了。4月からは寿町勤労者福祉協会診療所の医師となる

### 4月 桜のせいか 飲酒による入院の多い月でした

- 4月1日 デイケア、森林公園に花見へ

- 寿クリーンセンター開所  
診療報酬の改定で事務はおおわらわ  
4月10日 水島さん、職員として勤務  
4月19日 石倉さん、月1回心理判定を行う  
4月24日 NPO法人寿クリーンセンター開設記念講演会&シンポジウム開催(於:Lプラザ)

### 5月 新患さん 増え続ける

- 5月8日 受付で横入りをしたと、揉め事になり、張り紙を張る  
5月17日 対象者が増えたため、心理判定が月2回となる  
所内研修  
5月24日～25日 デイケア稲子へ田植え。2日目は雨となり、奇石博物館へ  
(矢島 雅子)

## 寿町地域ニュース・あらかると (2007年12月～2008年5月)

【生活保護】生活扶助費削減、2008年度見送り('07.12)／ジェネリック薬処方に制限する厚労省通知撤回('08.4)／4月1日に出された通院医療費の新基準通達が事実上撤回('08.6)【孤独死】2007年4-12月に市内で「孤独死」した65歳以上の高齢者が130人と横浜市公表、うち11%は寿町などの簡易宿泊所帳場が第一発見者だった('08.1)【炊出し】「障害者の日」の12月9日に中区肢体障害者福祉協会が寿町で炊出し('07.12)【福祉】大石クリニック「大石おいしい弁当」が配食サービスを始める('07.8 営業開始)／敬老パス、ICカード導入までは現行制度維持(自己負担額増あり)となる('08.1)【救急】横浜市議会が重症度・緊急度により救急の優先順位を決めるトリアージが盛り込まれた「救急条例」可決('07.12)【消防】中消防署が寝たばこ防止のため寿町でビラ・ポスター配布('08.1)【娯楽】センターでクリスマスツリー一点灯式('07.12)／ポートピア横浜オープン1ヶ月で売上10億円超('08.1)【野宿】中土木事務所が中村川左岸約450mにソメイヨシノを植える('08.3)【簡易宿泊所】(仮称)東会館新館新築着工予定('08.5)【仕事作り】NPO法人寿クリーンセンター開所('08.4)【日雇派遣】最大手グッドウィルが違法派遣を繰り返し事業停止('08.1)・同社社員逮捕('08.6)  
(寿町関係資料室)

# 医療法人 ことぶき共同診療所・鍼灸院ガイド

診療科目 **精神科 神経科 内科**  
**整形外科 鍼灸**

## 診療所

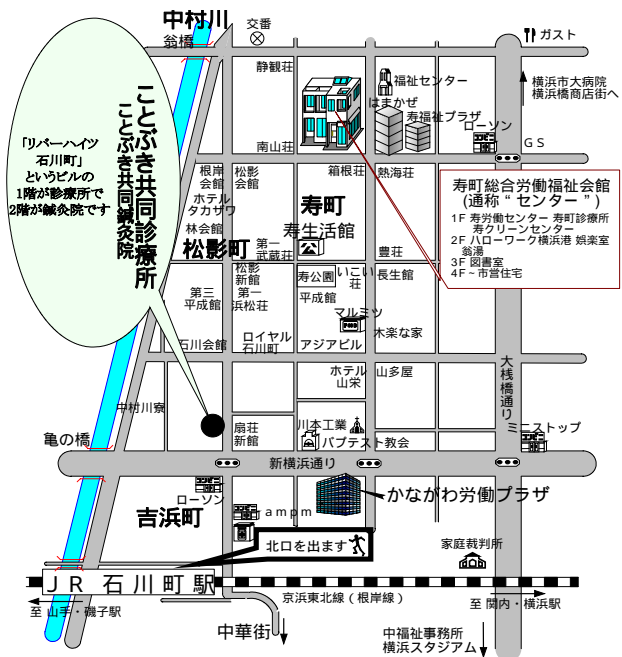
	9時30分	12時	14時	17時30分
<b>月</b>	休診			
<b>火</b>	田中・鈴木伸・天田	休診	田中・鈴木伸・天田	精神科・神経科・内科
<b>水</b>	天田・菊田		天田・菊田	精神科・神経科・内科
<b>木</b>	田中・鈴木伸・大脇		田中・鈴木伸・大脇	精神科・神経科・内科・整形外科
<b>金</b>	鈴木伸・天田		田中・天田	精神科・神経科・内科
<b>土</b>	鈴木伸・三橋	整形外科・精神科・神経科・内科		

鈴木美奈子(第2・4土曜工コー検査)

## 鍼灸院

(鍼灸院は予約制のため、お電話等で確認の上、ご来院ください)

	9時45分	13時	14時	18時
<b>火</b>	新井	休診	新井	
<b>水</b>	新井・富永		新井・富永	
<b>木</b>	新井		新井	
<b>金</b>	新井		新井	



### 保険扱い

国民健康保険 各種社会保険 生活保護 障害者自立支援 (その他、医療福祉相談も受け付けています)

### 心理判定(月2回)

### 寿町関係資料室

寿町にまつわる資料収集、調査研究を行う「資料室」を併設しています。

### 共同診療所・鍼灸院の所在地

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17  
リバーハイツ石川町 1・2F

### でんわとファックス

(045) **651-2305**

e-mail [info@kyoudouclinic.com](mailto:info@kyoudouclinic.com)

### ホームページ

<http://kyoudouclinic.com>

2008年6月25日現在